



たてわり活動や体験学習で育つ子どもたち

学校長 大竹 貴子

金木犀の甘く爽やかな香りが漂いはじめ、秋の深まりを感じる今日頃です。

先週は5年生が三浦体験学習に行ってきました。天気が悪く野外での活動はできないのではないかと心配しておりましたが、野外炊事や夜の花火、2日目のシーカヤック、砂の造形活動などいろいろな体験をすることができました。予定が変更することが多く大変なこともありましたが、子どもたちはいつも周りの友達のことを気遣い協力して活動することができていました。少雨の中での移動や、野外炊事場の屋根の下で肩を寄せ合い立って食べたカレー、波と戦い夢中になって楽しんだシーカヤックなど、どれも子どもたちにとって思い出深く自信につながったことと思います。

中沢小学校の特色ある活動の一つとして、たてわり活動があります。1年生から6年生が一つのグループを作り、年間を通して活動をしています。なかよし集会では、6年生がリーダーとなりみんなが楽しめるように計画を立て、当日も進行します。同学年の中ではリーダーになる子どもが比較的決まってきましたがいちがちですが、たてわり活動ではどの6年生もグループをまとめなくてはいけないという責任感を持ち、リーダーとして活躍しています。11月に行われる全校遠足でも、下級生をまとめ計画の話し合いをしたり実行したりすることで、中沢小学校のリーダーとして一回り成長してくれることを期待しています。

たてわり活動の他にペア学年の活動もあります。先日は1年生と2年生と一緒にグループを作り、新江ノ島水族館に行ってきました。普段は下級生として甘えることのできる2年生も、このときはお兄さんお姉さんです。事前の計画を立てる話し合いでもしっかり1年生をリードしていました。

当日は、渋滞で予定より大幅に到着時刻が遅れたことに加え、想像していた以上に遠足に来た団体が多くたいへんな混雑ぶり、グループで見学するのにとても苦労したそうです。でも2年生の子どもたちは、1年生とはぐれないようにしっかり手をつないだり、迷子になった1年生を必死に探したりしていたそうです。帰ってきた1年生は「2年生がとても優しくしてくれた。」と感想を言っていました。いつもは自分の気持ちを優先しすねてしまうこともある2年生ですが、1年生の前では上級生としての役割を立派に果たしていました。これも、たてわり活動での6年生の姿を見ていて、あこがれるリーダーのイメージがしっかり持てているからだと思います。

他に、1・6年、2・4年、3・5年のペア学年の活動もあります。それぞれの学年がいろいろな活動でリーダーとして下級生の手本になろうと努力したり下級生を思いやったりする経験を積み、リーダーシップを学んでいきます。さらに下級生から頼られることで自信を持ち、自己有用感を高めていってほしいと願っています。

9月26日に、旭中学校の体育祭を見学しました。全生徒が整然と並ぶ落ち着いた雰囲気の中、係の生徒が中心となって進行していく開会式。全力で走る力強い姿、温かい声援。見ていてとてもすがすがしい気持ちになりました。藤岡校長先生に「すばらしい子どもたちですね。」と言ったところ、「中沢小学校で育った、中沢小学校の卒業生ですよ。」という返事をいただきました。また、「たてわり活動をしているので顔を知っている先輩が多く、新入生も安心できています。先輩後輩の仲もとてもよいです。」と教えていただきました。たてわり活動の成果をここでも感じるすることができました。

学校はいよいよ前期のまとめの時期となります。これまでの自分の学習や生活について振り返り、それぞれ後期の目標を立てていきます。これからも学年や学校の行事が多くあります。その一つ一つの活動でさらに力をつけていってほしいと思います。がんばったことを褒め、後期の活動への意欲を高めることができるよう声かけをお願いいたします。